

農業農村整備事業等再評価地区別資料

局 名	中国四国農政局
-----	---------

都道府県名	徳島県	関係市町村名	三好市
事業名	農村地域防災減災事業	地区名	西祖谷 ² 期
事業主体名	徳島県	事業採択年度	平成 24 年度

〔事業内容〕

事業目的： 本地区は、吉野川上流部南岸に位置し、徳善上、後山西、尾井の内、重末、重末カゲ、閑定、高野の地すべり工区により構成されている。

地質については、斜面から供給された崩積土が分布し、深部には風化・破碎の進行した岩盤により形成されており、地形についても、集水地形を呈し、集水された水は地下水となり滞留しやすい状態であり、広範囲に地すべりブロックが形成されている。

当地区には、農地、農業用施設、人家、県道、市道、集会所等の公共施設が存在し、社会的重要性も高い。このため、国土保全と民生の安定に資することを目的に地すべり防止工事を行い、本地域全体として農業経営の安定と国土保全を図るものである。

受益面積： 184ha

主要工事計画： 排水ポンプ工 9,390m
排水路 285m
承水路 135m
集水井工 5箇所
土留工 1箇所
堰堤工 3箇所
護岸工 400m

総事業費： 670百万円（計画総事業費：534百万円）

工期： 平成 24 年度～令和 6 年度（計画工期：平成 24 年度～平成 28 年度）

関連事業： なし

〔項目〕

ア 事業の進捗状況

本事業の地すべり防止工は、令和 3 年度までに全 13 ブロック中、8 ブロックを実施しており、令和 3 年度までの進捗率は、82.8%である。

① 計画工期に対して著しい変更は認められないか

本地区は、平成 24 年度に事業採択されたものの、豪雨により新たな変状が発生したことにより、調査観測や地元調整等に時間を要したため、工期を延伸することとなった。その後は地すべり対策工事が進み、令和 6 年度の完了に向け計画的に事業進捗を図る予定である。

② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか

地元負担なし。事業について関係者との合意形成が図られている。

イ 関連事業の進捗状況

該当なし。

- ① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか
農業農村整備事業管理計画に即し、適切に連携・調整を行っている。
- ② 国営付帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか
本地区は国営付帯地区に該当しない。

ウ 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化

- ① 受益面積の増又は減が10%未満であるか
当初計画以降、受益面積の変動は生じていない。
- ② 主要工事計画の著しい変更が認められないか
これまでの事業実施期間における台風等による大雨（H26、H30）を経験し、変状の進行が見られなかったブロックの対策工は、実施計画の変更により対象外とする予定であることから、事業量の変更を含めた計画変更（令和5年12月確定予定）を行う予定である。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化（費用対効果分析の結果を含む）

本地区は、当初計画以降大きな変更はなく、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

- ① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）が計画事業費の20%未満であるか
これまでの事業実施期間における台風等による大雨（H26、H30）を経験し、変状の進行が見られなかったブロックの対策工は、実施計画の変更により対象外とする予定であるため、主要工事に係る計画変更（令和5年12月計変確定予定）を行う予定である。
なお、物価変動によるものを除く計画事業費の増は20%未満である。
- ② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか
三好市の農業振興地域整備計画と整合が図られている。
- ③ 費用対効果分析の結果
(B/C) 2.96（現計画時：6.59）

オ 環境等の調和への配慮

本地区では、工事の際に建設発生土の現場内流用や再生骨材の積極的な利用、環境負荷の低い機械の使用している。また、仮設運搬でモノレールを使用する場合は、必要最小限の伐採となるルート選定をおこなうなどの周辺環境への配慮を行っている。

カ 事業コスト縮減等の可能性

本地区の建設発生土を現場内流用することで、搬出にともなう運搬及び処分費のコスト縮減を図っている。

今後、実施予定の工事においても、積極的にコスト縮減に努めることとする。

キ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向

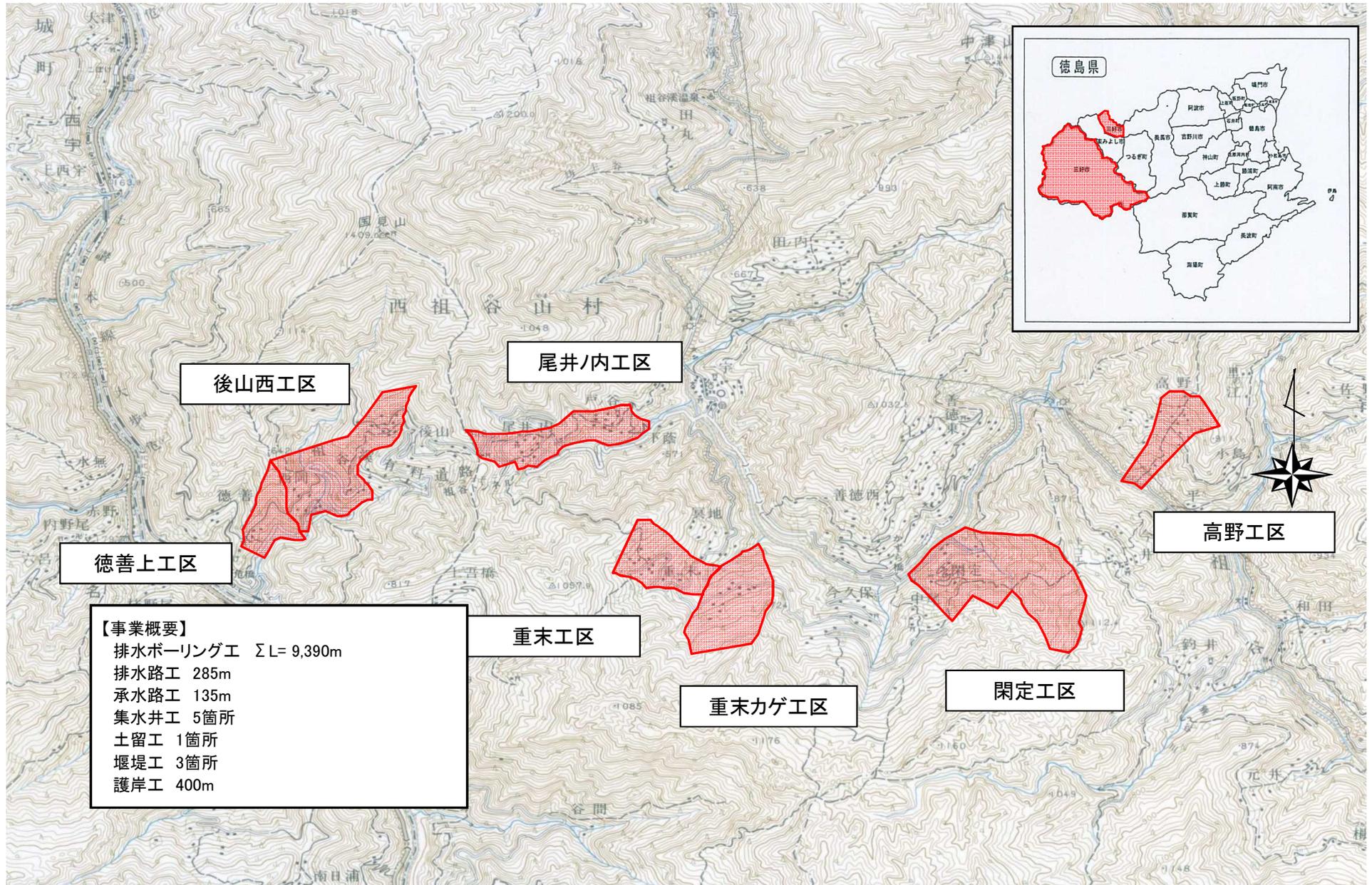
本地区は H30 年に「世界農業遺産(にし阿波の傾斜地農耕システム)」に認定され、地域の特性を活かした営農活動が行われ、本事業の実施により、農地の保全と、公共施設の被害防止等多様な整備効果が見込めるなど、農村地域の安全安心な暮らしのために必要な事業であり、三好市及び地元は、事業の早期完成を強く要望している。

ク その他

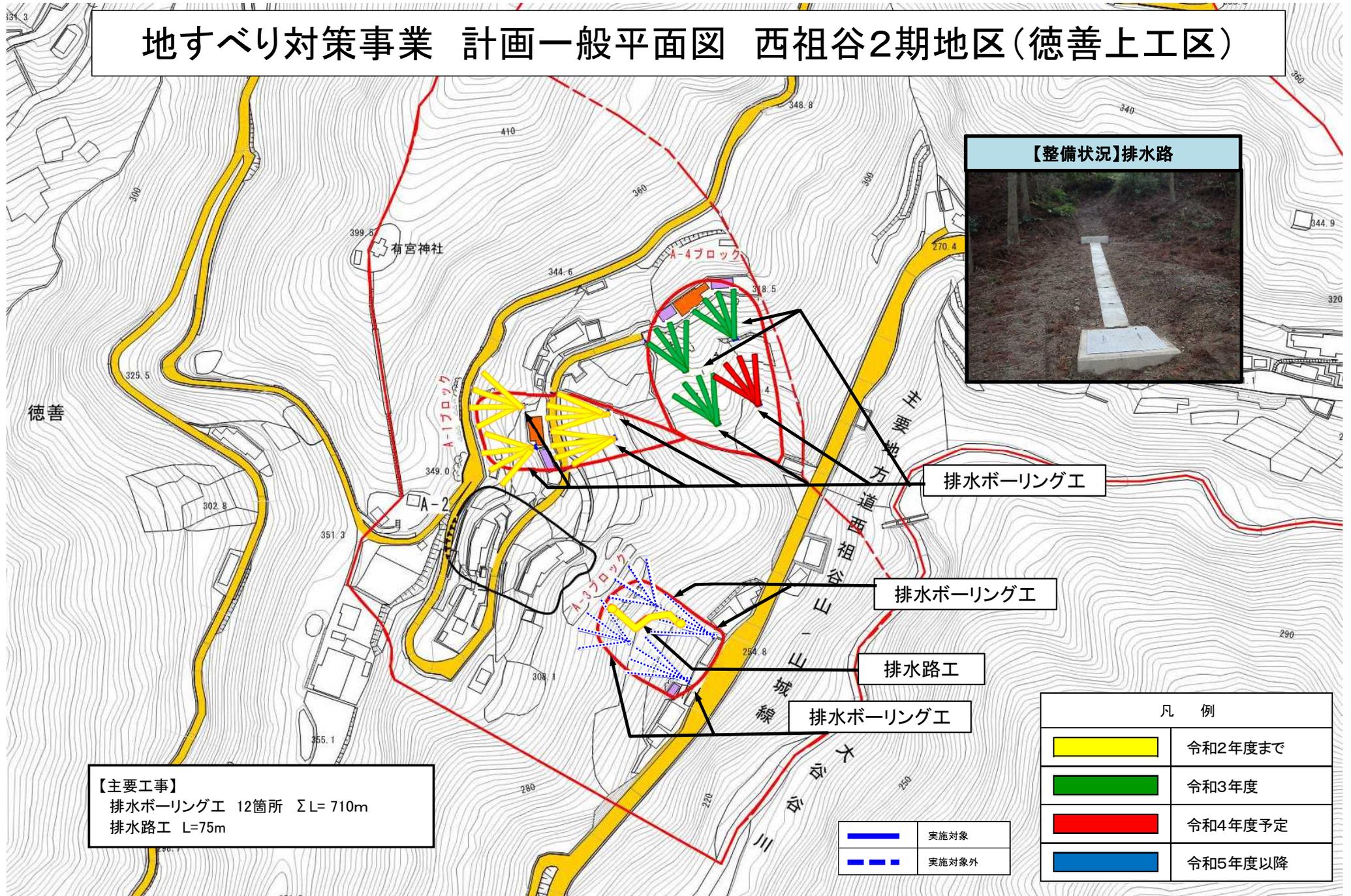
第1回計画変更 令和5年度手続き開始予定 令和5年12月計画確定予定

事業主体の事業実施方針	継続する。
事業主体の予算要求方針	令和5年度予算を要求する。
第三者の意見	<p>本地区は、事業着手後に豪雨により新たな地すべりの兆候が見られたため調査観測及び地元調整等に時間を要し、完了工期が延伸することとなったが、現在では対策工も進んでおり、令和6年度には概成し事業完了する見込みとなっている。</p> <p>近年の集中豪雨等の異常気象が頻発するなかで地すべり対策を行うことは、農村地域の安全安心な暮らしや国土保全を図るため重要である。</p> <p>対策工の効果について十分な経過観察を行い、地域住民が継続的に安心して営農や生活が行えるよう、環境に配慮しつつ計画的な事業実施に努められたい。</p>
補助金交付の方針	予算を割り当てる

地すべり対策事業 西祖谷2期地区 位置図



地すべり対策事業 計画一般平面図 西祖谷2期地区(徳善上工区)

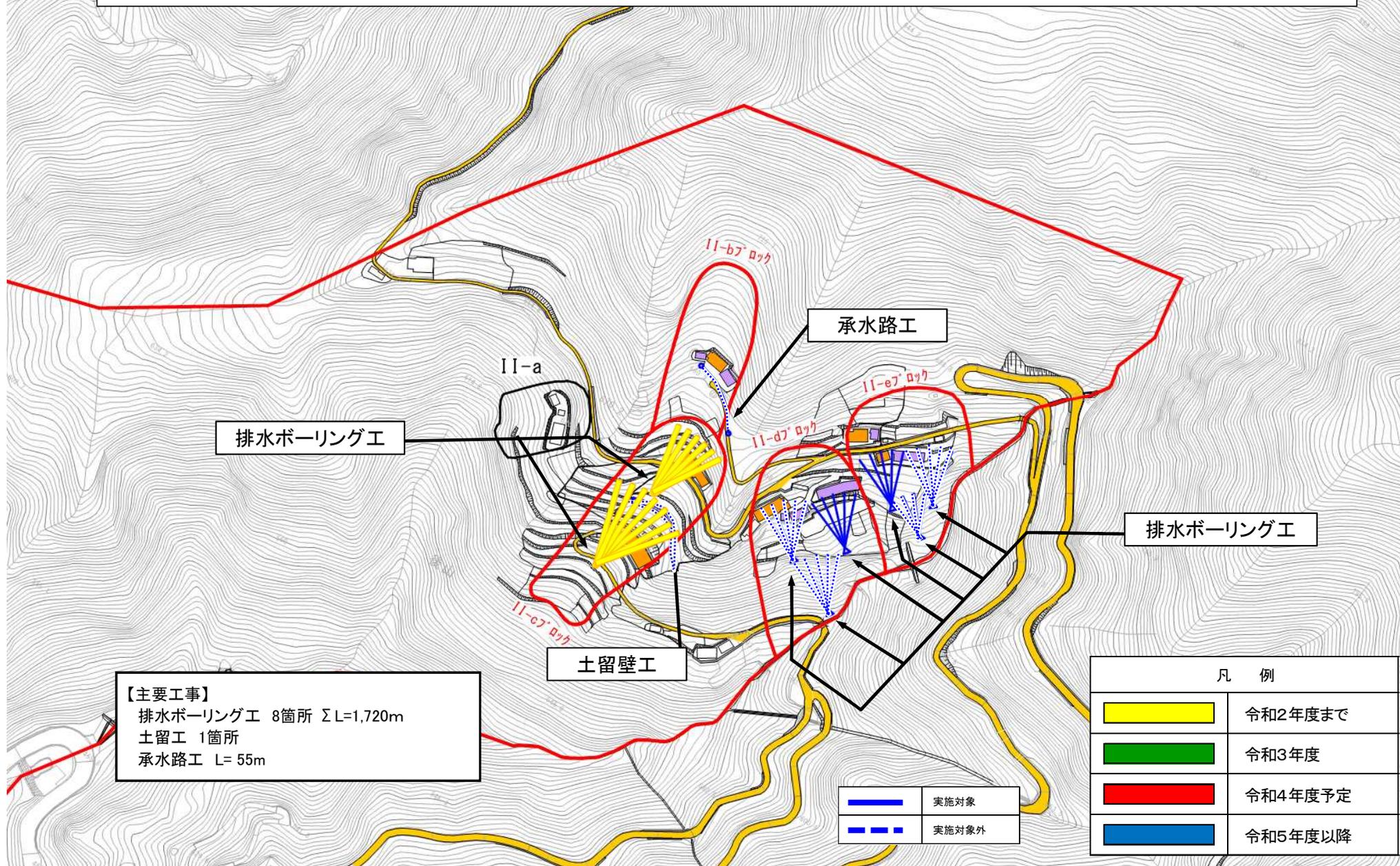


【主要工事】
 排水ボーリング工 12箇所 $\Sigma L=710m$
 排水路工 $L=75m$

凡 例	
	令和2年度まで
	令和3年度
	令和4年度予定
	令和5年度以降

	実施対象
	実施対象外

地すべり対策事業 計画一般平面図 西祖谷2期地区(後山西工区)



地すべり対策事業 計画一般平面図 西祖谷2期地区(尾井の内)



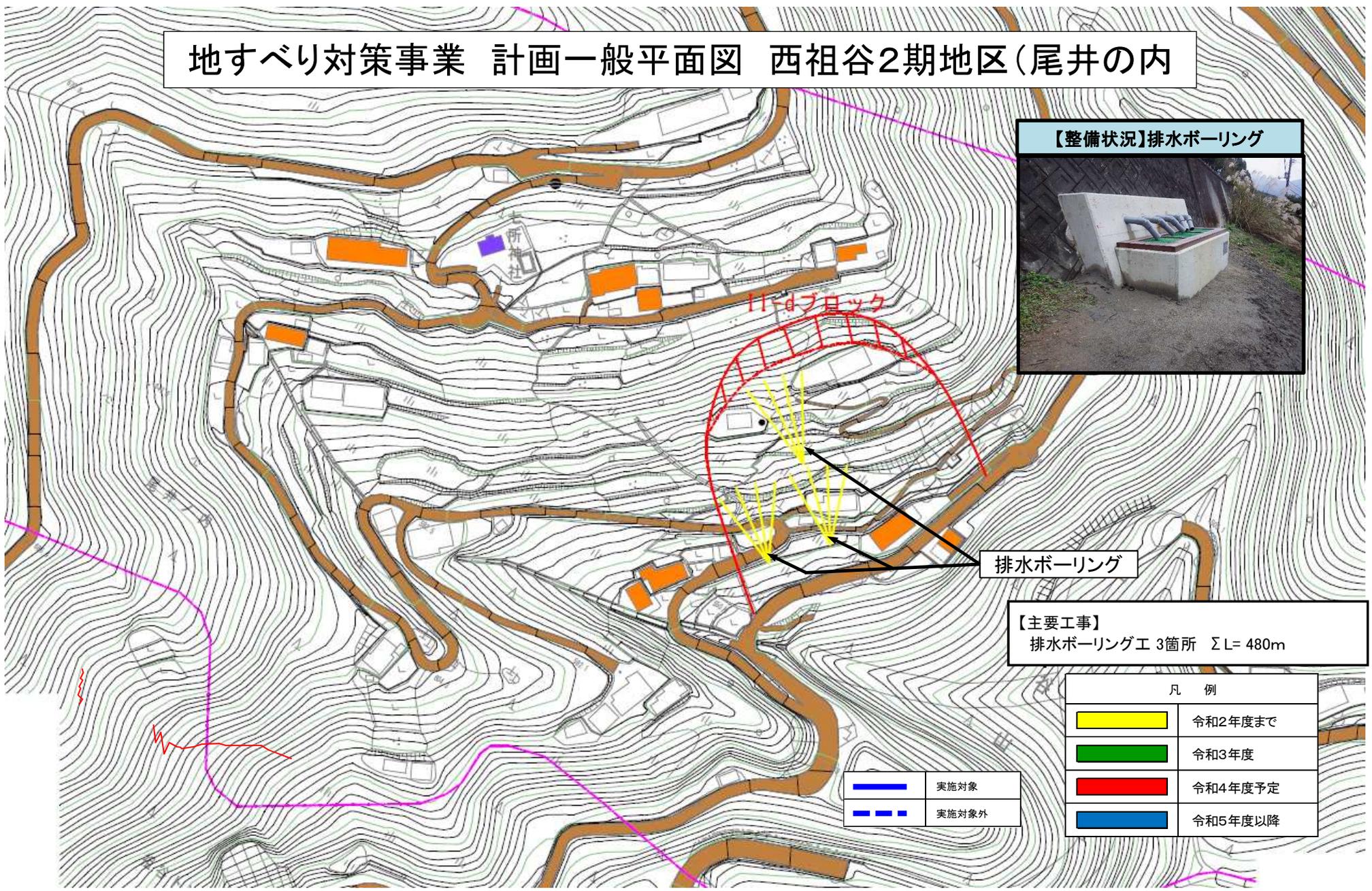
ハコブロック

排水ボーリング

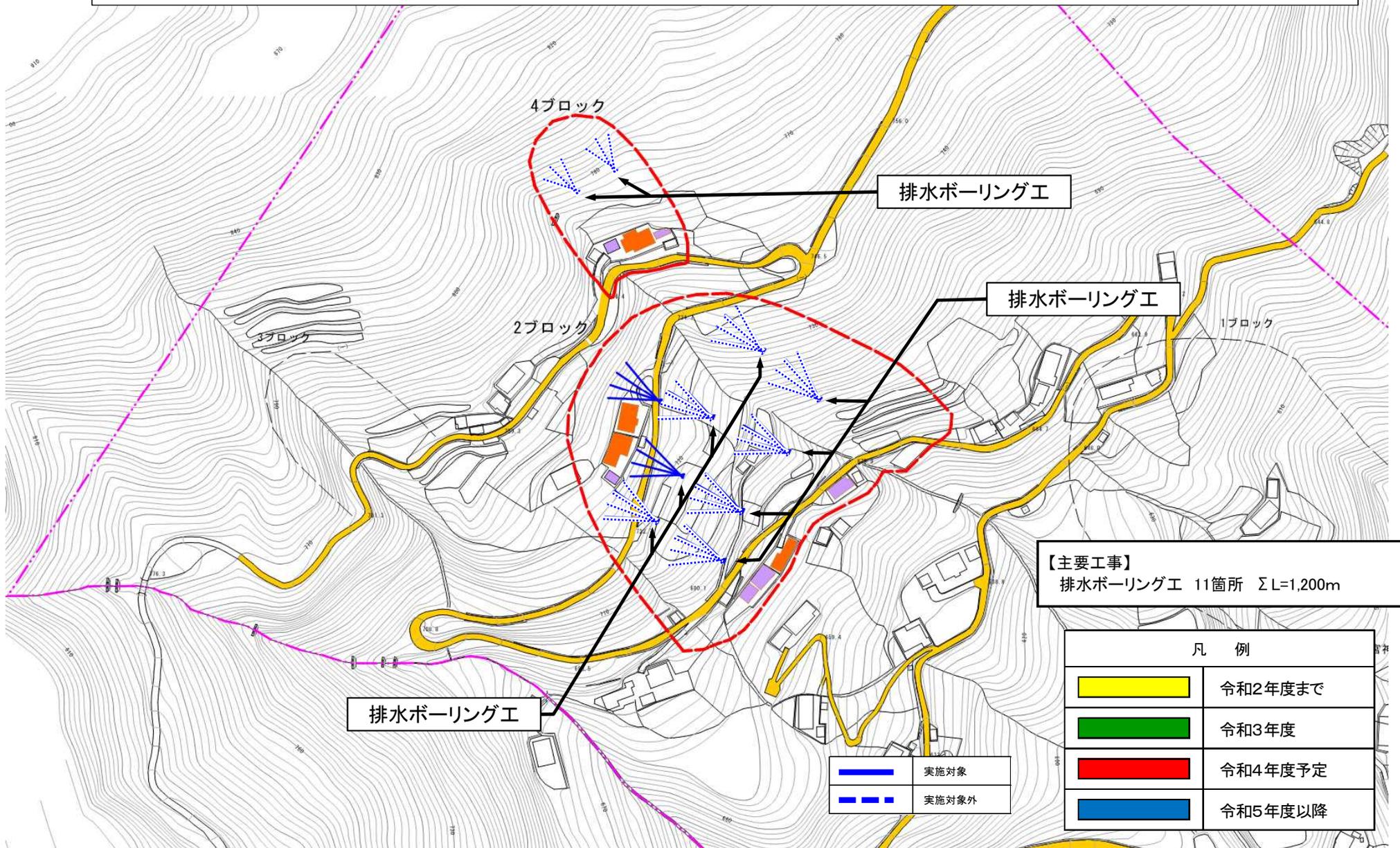
【主要工事】
排水ボーリングエ 3箇所 $\Sigma L=480m$

凡 例	
	令和2年度まで
	令和3年度
	令和4年度予定
	令和5年度以降

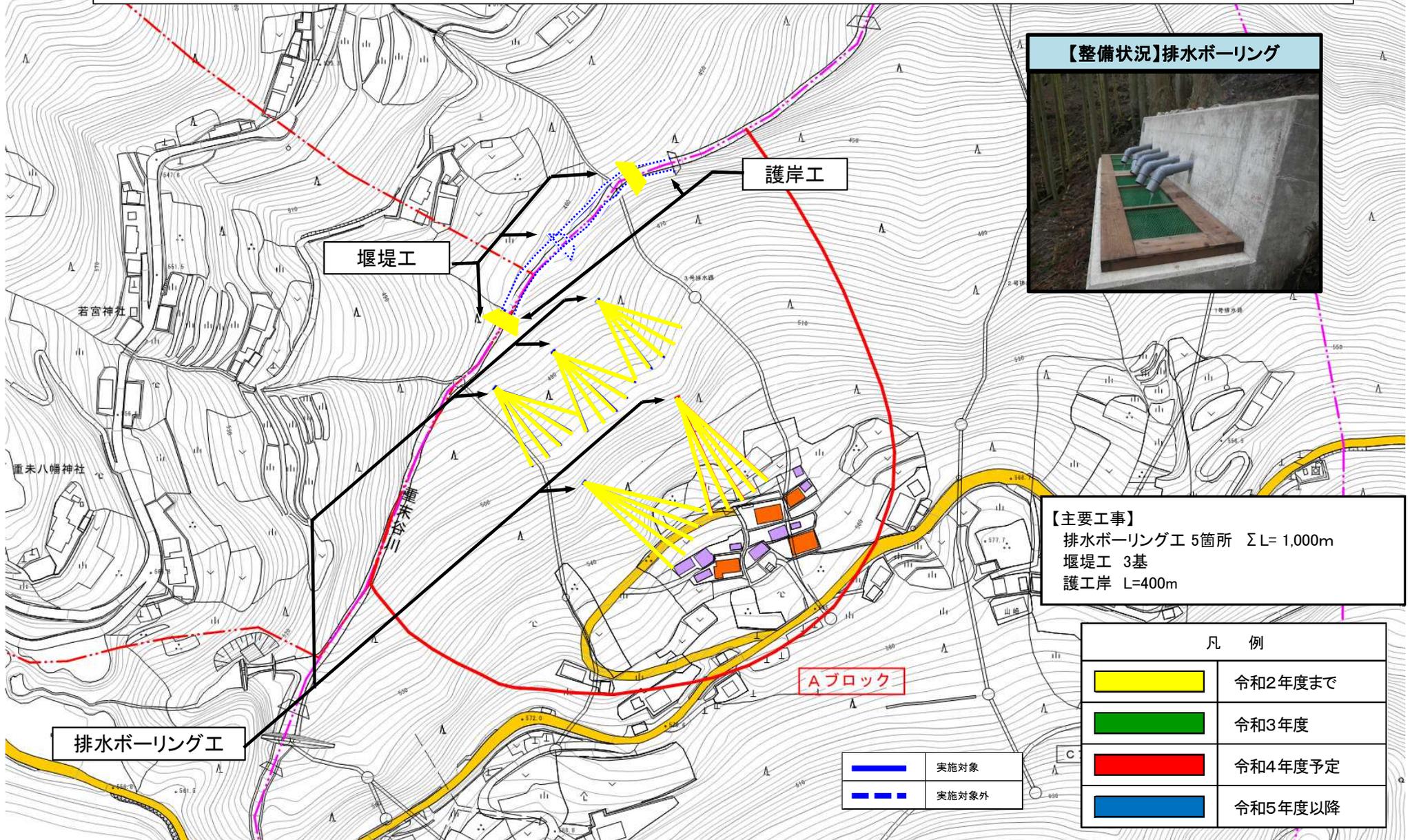
	実施対象
	実施対象外



地すべり対策事業 計画一般平面図 西祖谷2期地区(重末工区)



地すべり対策事業 計画一般平面図 西祖谷2期地区(重末カゲ工区)



【整備状況】排水ボーリング



【主要工事】
 排水ボーリング工 5箇所 $\Sigma L=1,000m$
 堰堤工 3基
 護岸工 $L=400m$

凡 例	
	令和2年度まで
	令和3年度
	令和4年度予定
	令和5年度以降

	実施対象
	実施対象外

排水ボーリング工

堰堤工

護岸工

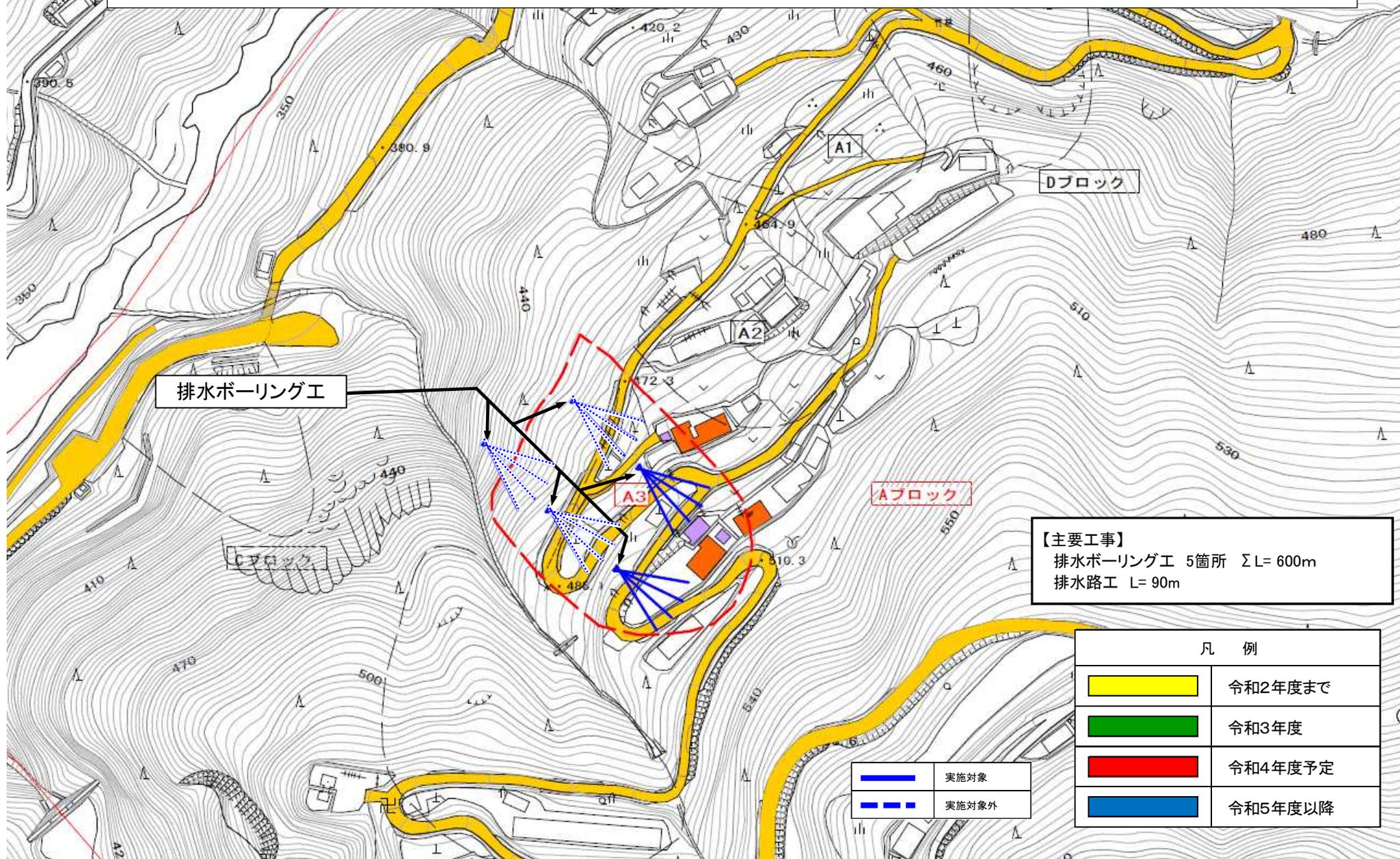
Aブロック

若宮神社

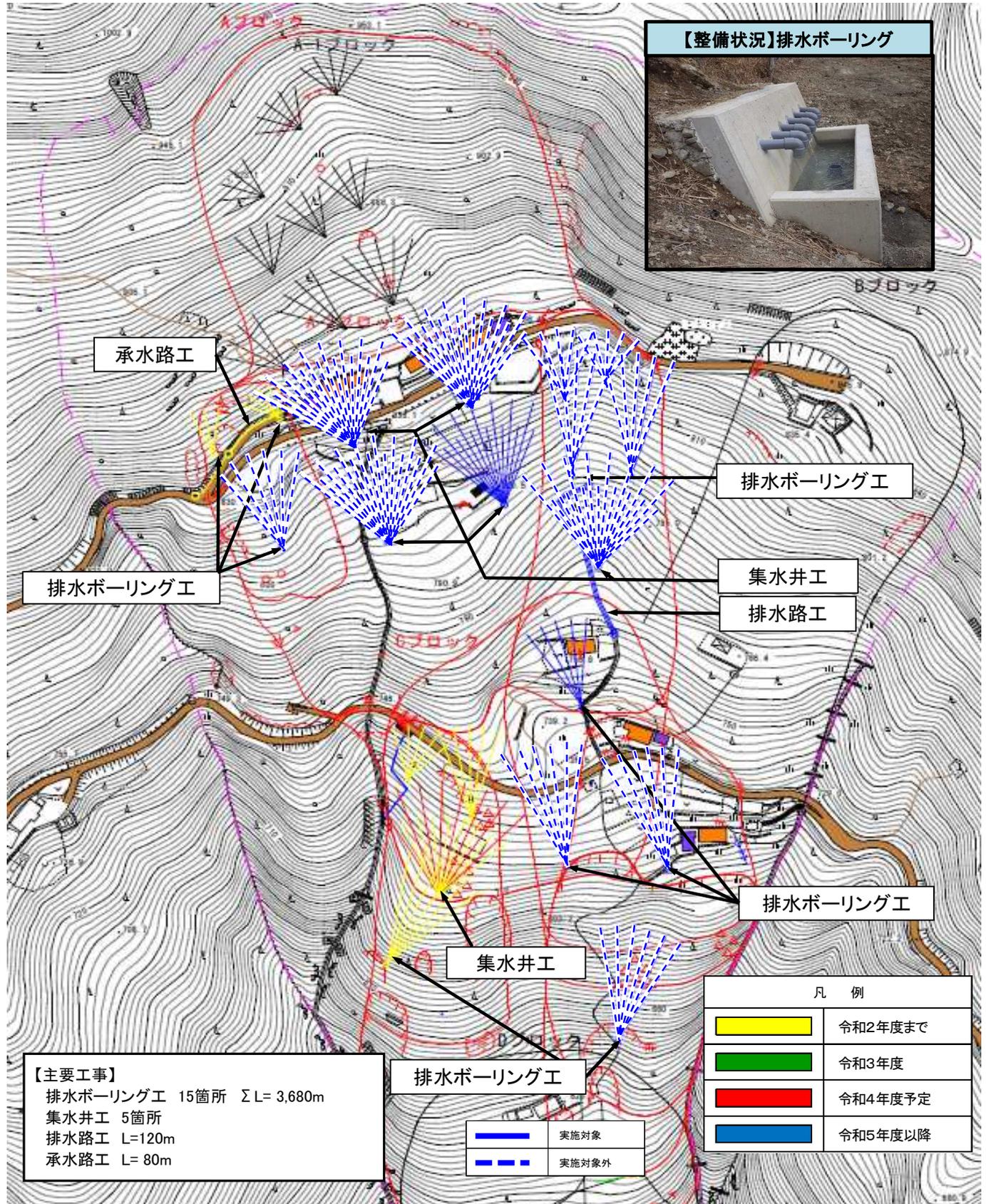
重末八幡神社

三谷沢川

地すべり対策事業 計画一般平面図 西祖谷2期地区(閑定工区)



地すべり対策事業 計画一般平面図 西祖谷2期地区(高野工区)



費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農村地域防災減災事業	都道府県名	徳島県	地区名	西祖谷２期
-----	------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総事業費	①	686,440 千円	
被害想定額	②	2,033,982 千円	
費用便益比	③ = ② ÷ ①	2.96	

注) 費用便益比については、被害想定額を総事業費で除する簡便な手法により算定

2. 被害軽減評価額の内訳

(単位：千万円)

被 害 項 目	評 価 額	被害軽減の内容
農業資産の被害軽減効果	199,375 千円	防止施設の設置により、地すべり災害発生を防止 対象施設等：農地、水路等
農作物の被害軽減効果	6,206 千円	防止施設の設置により、地すべり災害発生を防止 対象作物：蕎麦、茶等
一般資産被害軽減効果	889,511 千円	防止施設の設置により、地すべり災害発生を防止 対象作物、施設：家屋、倉庫等
公共施設等被害軽減効果	938,890 千円	防止施設の設置により、地すべり災害発生を防止 対象施設：市道
人命保護	0 千円	防止施設の設置により、地すべり災害発生を防止 対象施設：
計	2,033,982 千円	

3. 評価に使用した資料

【費用】

- ・当該事業費に係る一般に公表されていない諸元は、徳島県農林水産部生産基盤課調べ（令和3年）

【便益】

- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知）一部改正令和4年4月1日3農振第2901号）
- ・効果算定に必要な各種諸元は、徳島県農林水産部生産基盤課調べ（令和3年）